



広報

こしがや

1月1日

昭和45年・NO. 366

編集

越谷市役所行政課

昭和32年8月5日第三種郵便物認可 毎月1日・15日発行

むくどりの乱舞 (大林で)

スプロール化のため、だんだん自然の美しさが失われ、
ていく越谷にも、まだそこに武蔵野のおもかげが息
づいています。(広報専門委員坂巻高次さん撮影)



あけまして
おめでとうございます

昭和45年元日

七十年を迎えて

—わたしの年賀状—

市長 大塚 伴 鹿

ことしは、いよいよ一九七〇年代の最初の年である。波瀾曲折に富んだ六九年をあとにして、無事に今日を迎えたことは、もって同慶の至りとしなければならぬ。

七十年代は内外共に益々多事多難、人類はひとつの曲りかどにきたまうである。宇宙をも征服することになった人間の恐るべき力がそのみずからの力で人間自身を滅ぼすことになるか、あるいはまたその力によって人間自体を真に万物の霊長にまかためていくかどうかの岐路に立つからである。

現今のいわゆる大衆社会はエリートを必要としないといわれている。しかし大衆社会では大衆が自分たちで自分たちの運命を決めるのであるから、大衆がエリートでなければ人間は必滅することになる。

市民福祉の増進をはかる

市議会議長 山崎 寛 二

市民の皆様明けましておめでとうございます。ここに希望の新春をお迎えするに当たり、皆さんの御清福と御繁栄を心からお祈りいたします。

私は一昨年五月市議会議員選挙後招集された市議会に於て、四つすも再度議長に就任いたしました。その後議会の円満な運営と市政の伸張を第一義として、誠心誠意努力して参りおかげをもちまして、大過な二年有終過すことができました。

これひととに皆様方のご支援と協力の賜でありまして、深く心から感謝の意を表する次第であります。

経済開発・社会開発は大衆社会で誰しもいかに意図し希求する。そして物質的にゆたかな大衆生活をつくりだすには、これのための施策は必要不可欠である。しかし経済開発・社会開発はそれ自体を目的とするだけでは完全なものでないことも、これまた自明の理である。それらは最終的に人間開発を自途とするところによりはじめて価値を生ずるのである。

さて、越谷市は全国で稀に見る人口の急増地域である。民族移動にもたせられるこの実状は、当然急速な経済的、社会的な開発を迫られる。人かえれば保育所・学校・健康管理などの諸施設が直ぐ必要となるし、交通・道路・上下水道・汚物処理などの整備も亦も一刻もゆるがせにできない。

加えるに昨年来の流通革命の波や新都市計画法の施行は、旧来の商業や農業のありかたに強く転換を求めつつある。越谷市民一般が、いづれにしろ人間らしい生活を営むためには、莫大な社会資本の投下が必要である。年間の市税総額十億円でこそであるのにすでに四十億円もの短期負債を抱えている越谷市は、自身だけでは解決できない難問をもつたに、ひとつの曲りかどにきている。

ことしは昨年にも増してきびしい年である。だが、ひたすら願うことは人間開発という最終目的だけはお互いに見失いたくないといふことである。

顧みますと我が越谷市は本年をもって発足以来十二年目を迎えるわけですが、人口は十三万になろうとしております。そして財政の中で市民の皆様には種々ご迷惑をおかけしておる事と存じます。しかしながら全市民の愛郷精神が極めて旺盛な事と行政運営のよろしさを得た結果、今日の繁栄を見る事ができたわけでありませう。誠に感概無量でございます。しかしながら市民の福祉を増進し、市民生活の安定を図るには、なお重要問題が山積しております。その解決を図る事こそ直接市政を担当する我々に課せられた責務であります。国及び県の施策と相まって市政の範囲内に於て最大の効果があがるよう努力する覚悟であります。

昭和四十五年こそ市の躍進の年として、市政全般にわたり内容充実のために最大の努力を傾注する所存であります。なにぞ昔旧の「指導と鞭撻」をお願い申しあげます。誠に誠にお願いいたします。年頭に当たりいささか所感を述べてまいりました。



新しい年を迎えて

越谷市の人口は、まもなく十三万人になうとしており、二十万とが一体となって解決しなければ三十万都市へと前進しています。この人口急増に対処するために、少ない財源のなかから最大の効果をおげるべく各種事業を進め、市づくりに努力していきます。写真の職名および氏名は次のとおりです。

- 市史編さん室長 島村平市郎
- 教育委員会 指導課長 近藤重平
- 図書館長 木村信次
- 開発課長 鈴木知友
- 課長 植竹安雅
- 越谷駅水産企業団 常務理事 鈴木正治
- 財務課長 白鳥 巖
- 主事課長 矢島茂重
- 福祉事務所長 斎藤啓司
- 工業検査課長 中田政之助
- 会費課長 高橋仁之助
- 選挙管理委員会 事務局長 田川一郎
- 教育委員会 総務課長 新井英夫
- 金調課長 鈴木裕万
- 越谷駅水産企業団 管理課長 石塚吉男
- 農業委員会 事務局長 熊井信猷
- 給食センター所長 川尻春四郎
- 市民課長 須賀健藏
- 建築課長 飯山岳司
- 東部消防組合場長 中島与兵衛
- 衛生課長 外山好太郎
- 収入役 浅見英藏
- 参事 小川六朗
- 助役 黒田嘉大利
- 教育長 秋山長作
- 参事 高志信惺
- 参事 小島 清
- 消防署長 永野悦郎
- 開発公社 事務局長 山崎 清
- 議会事務局長 島村利一
- 農務課長 会田平藏
- 浅子重次
- 監事委員
- 宇井広治
- 越谷駅水産企業団 事務局長
- 吉田信一
- 行政課長
- 中村栄一
- 都市計画課長
- 大塚伴鹿
- 越谷市長

私の初夢

わたしが市長になつたら

昭和四十五年の新春を迎えて、広報こしがやでは、特別企画として、市内の小中学生や、一般市民の方々に作文を書いていただきました。「私が市長になったら」と題して、自由のびのびと書いていただきました。ここに掲載した初夢の中には非常にスケールの大きい夢や、いままぐに実現できる夢など、豊富な意見がふれています。さて、あなたが市長になったら、どんな初夢を見のでしょうか。(小学校、中学校、青年、一般人の順に掲載し、各執筆者の順は不同です)

川の上に

広い運動場を



明地絹子さん
越ヶ谷小 6年

もし、私が市長になったらしたら、まず最初に道路を直します。道路といつても一部分で、十字路の所で。信号機のない所ではまがりとして、衝突の例も多々あります。だからその二つの道路にはなされた土地を三角の部分だけあかして、見通しをよくするのです。でも、ただあかしてよくだけではもったいないですから、その部分にびんをさして、その中は花でいっぱいになります。つまり花だんを作るわけです。四、五十メートルの花だん、見通

しいはいはです。次に、私たちがなまされて、遊ぶ場のことです。ちよと無理かもしれませんが、元荒川の中でも、もっとも川はの広い所を選んで、百メートルにわたって大きな橋を作ります。そして、わりは、一辺くらいまコンクリートで、あとはあみで、その橋をかみまます。そうすれば、コンク

リーとだけ、川にも落ちないで遊ぶ。広い運動場ができると思っています。ふうの公園やこのような運動場がいくつかできれば、遊び場には不目玉はないはず。このほか、ごみをきれいにした、緑の木をたくさん植えて、今までの「新鮮さが市全体にたまたまよつた市にしたい」と思っています。

動く歩道橋に



門脇清美さん
大相模小 6年

フッパー、キー、自動車のさつおん。このころは、交通事故が多くなつてきた。こんな問題を解決させるには、歩道橋がいると思

う。わたしが市長になったら、たくさんなことがあつても、いろいろな市役所を建てると、交通関係の道具をつくると思う。その二つが歩道橋です。どんなに年をとつてもおじいさんもおばあさんもおもひのほれるもの、大きな荷物もかきもてるもの、そんなものをつくりたい。つまり橋をエスカレーターにしたいので、す。やねもつりつけて、エスカレ

市民税を安く



川鍋てる子さん
増林小 6年

ターのとよりは、荷物おまかせんものヘルトコンペーパーもとりつきたい。そうすればお年寄りも平気でのぼれて、大きな荷物も自由にはこべるようになるだろう。そんな歩道橋を市全部につくってみたい。

その次は、道路のことです。道路のことです。たら、ほそうまわれないです。雨のふつたあと、自動車にどろみすをかけるかたします。「なおよしなご」とよれた洋服をその人の前へつき出して、はたして、きれいにお出してあげてくれるだろうか。あつたとしても、そんな例は、十に二つどの割合でしかなくて、急になくなる。市内の学校を建て直したり、道路をほつたりするものが、こんなになつてしまつてしまふ。けれども、そのむすかしいとを乗り越えて、少しでも少なにするようにしたいと思つています。

広い広い

あき地をひろく



山田賢司君
蒲生小 6年

市長とは、市民が楽しく安全にくらせ、そして市が発展するように努める人だ。最初は、子ども市長だから広いあき地がほしい。

だから、まず、畑や田をつめて、そこで遊ぶのも、こどもも、楽しく、ゆ快地遊べるようにする。そうすれば交通事故が少なくなるだろう。次に、やはりむりがないように市民から、税を少しずつもつって、いろんな所に花や木を植えて、みんなが楽しく、静かで平和にくら

その次に直したいのは川の水をきれいにして、市全体を明るく清潔に住みよいかんきょうにしたいことです。私の家の近くにも、元荒川など、何本かの川や用水路が流れていますが、その川の付近の人たちが、ゴミなどをすてたりしています。ゴミをままだまして、時にはねや木の死んだのなんかも流れてあります。そんなことをしては、衛生的に悪いだけでなく、用水路などで、

どうして道はいや



島海路子さん
桜井小6年

せるようにする事だ。と言っている。近頃の、工場のせいで、たまたまひなごけむつほくならしている場所がある。木は、二酸化炭素をすって、酸素を出すからだ。

その次は、越谷市が東京から来たをならへるように、一日も早く改定して野線が、開通して東京の発達を見なう事だ。そして、大きなビルを建築したり、東武タワーに負けないタワーを作ったりしたい。

でも、そのようにするには、市長としての責任感や、みんなの意見を公平に聞き、決定するのは、たぶん必要になってくる。

ほくは、またまた、いじりたか、もつと深く考えれば、いじりな事を勉強して、それを身につけて、また、一歩と前進する事だ。いじりばおとなにならなければ、責任や、はんだんといつとほく生まれてこないといふから思う。

そして、ほくがまじめな土音のがうちりした正しい考えをもつおとなになつてから、市長になれたらとどんなに、楽しい事だ。

ほくは、健康なからだを作り、大きな希望をもつて、強い勇気で正しいはんだん力をもつすばらしい市長になって東京に負けない、りつばな越谷市に、発展するように努力したいと考えている。

痛くはならない。何年か先には、必ずよくなる。公園もできる。学校も新校舎が建築された。わたしたちのへりしも、一日一日よくなつて来た。

希望実現するには、苦労が、そして努力がそれを作っている。ことを、市長はよく知っているのだ。

わたしは、市長になつたら、越谷市だけのことを考えず、春日部草加、そして埼玉東、日本の国全体を考えた計画を持ちたいと思う。目先のことはかり考えず、遠き将来のこと、そして、日本全体のことを考え、理想の実現に努力したいと思う。

越谷市民一人一人のための市長でありたい。わたしたち市民は、一人一人市長になつて、越谷市を考えたことが、わたしたちのゆめを表現させる近道である。

わたしは、市長になつたら、一番始めに、市内のきけんをなくすことに歩いて、いろいろな紙すなとすくても注意しない親がたをいんる。小さい時からそういうことをしている習慣になつてしま

もし、わたしが市長になったら、わたしたちが市長になつたにしろたいへんことだ。市全体の責任をもつて市をよくするために、いろいろな考えたり、努力しなければならぬ。

そして、一人残らず市民が、いつもを願っているためにわたしは、一生懸命に仕事をこなすわなればなりません。

さ、今、わたしたちの住んでいる越谷市は、住居が増えて人口がけき増している。日本の国全体がよくなつていけるかも知れないが、それでも、越谷は日本一のぶえなつた。そのぶえをいへる人口対策が、越谷市の姿を姿せて行くのだ。市全体の理想は、急にもやることはできない。何年かかかってよ、いへるのだから、未来の越谷都市計画を、きちんとたてる必要がある。

名古屋や、札幌のように、百回道路が何十年も前にできていて、は、市長が、未来の計画を持っていたからできたのだ。

わたしは、市長になつたら、学校までの道も、いじりな道だ。でも未来の事を考えれば、一つも苦

暗い道をなくす



松村圭子さん
大袋小6年

もし、私が市長になつたら、一番始めに、市内のきけんをなくすことに歩いて、いろいろな紙すなとすくても注意しない親がたをいんる。小さい時からそういうことをしている習慣になつてしま

次に、市内に、ゴミひとつおろさないように、清潔にするのだ。現在では、こどもが親と一緒に歩いて、いろいろな紙すなとすくても注意しない親がたをいんる。小さい時からそういうことをしている習慣になつてしま

次に、市内に、ゴミひとつおろさないように、清潔にするのだ。現在では、こどもが親と一緒に歩いて、いろいろな紙すなとすくても注意しない親がたをいんる。小さい時からそういうことをしている習慣になつてしま

次に、市内に、ゴミひとつおろさないように、清潔にするのだ。現在では、こどもが親と一緒に歩いて、いろいろな紙すなとすくても注意しない親がたをいんる。小さい時からそういうことをしている習慣になつてしま

交通事故のない明るい町に



田中光江さん
蒲生第2小6年

もし、私が市長だつたら、交通事故のない明るい町にします。まず、子どもたちが安心して遊ぶことが出来たり、おとなの人たちがゆとり、くつろげる公

毎日、交通事故で何人もの人が死んだり、けがをしたりするニュースを聞きま。交通事故をなくすために道をほつちます。それから、車の通る道と人の歩く道とを区別して、歩く人が安心してあるけいをつくります。信号があつても事故はあつて。それで、信号をあらゆる所に作ります。とどろが、おとなの人たちは、

陸橋をわたりません。

私たちが、これから大きくなら
たら、右側を、ちゃんと歩き、陸
橋をわたり、子どもたちにみほん
をしめします。子どもたちは、
それにならって、交通道徳をき
ちんと守るようにならぬと思いま
す。

でも、歩く人がいくら注意して
も、車を運転する人が、注意しな
ければ事故はかせげません。道路
ひよつしきをたくさん道につけま
す。道の両側に木などを植えて、
運転する人が楽しくなるようにし
ます。

越谷市を美しく



永野芳江さん
新方小6年

わたしが、市長になったら、ま
ずはじめに、わたしたちの市を考
えて、不便な所を直してもっと皆
に知られるような市にしたいとお
もっています。

次に道路を考えてもわかるよう
に、わたしたち新方の道をきれい
な道にし、だの部分をはそうにし
てから、そのほかの道をはがた
な道でなく、たいどで気持のよい
道路にしたいと思います。

次に、わたしたちの市に家がた
ちならび、弥平郎とか、船渡新田

大杉新田には住居とか、団地がふ
えきまします。

そのため市を明るく、楽しい市
になるため金員に市を美しくしよ
うといことを問題にして話し合
ってから、そのことを報告し、み
んなで市を美しくして、明るく楽
しい市にしたいと思います。現在
住居が建ち並んでいますが、まだ
またたちならぶことでしょうか。

そこで、まず問題は、こみすて場
のことですが、そのへんへあなを
つくりだすにすていますが、わ
たしの考えは不衛生だと思いま
す。それをなくすため、せいそう員の
人がこみを取りにくければいいと思
います。でもこのころ、きたない
仕事をす人がいないので、こまり
ます。

そのため、きたない仕事でもみ
んなが力をこめて協力すれば、市
はますますきれいになることとし
よう。

みんなは、きたない仕事だと思
つてもわたしたちはばいじなした
とほめてやりたいです。みんなも
協力してあげましょう。

次に、子どもの立場を考えると
遊び場、公園などへつってやりた
いと思います。一日も早く事故の
ない平和な町をつくりたいと思
いにしたいと思います。

これでわたしの願いはばいじつじ
んですが、もっともつと発展した
市にしたいとわたしは思っています

す。わたしは、このくらいですが
みんなも考えていることをおしえ
てもらいその考えを表現したいと
思います。

人が信じられる 越谷市に



深井和子さん
川柳小6年

越谷市では、住みよ町にする
ため、いろいろ努力していると思
う。

たとえば、私の住んでいる地区
でも真道がほろうされ、バスも通
るようになった。また、むじしの
線も一日と形ができてくる。小
学校も増築され、もうすぐ使える
そうだし、南中も鉄骨が組み立て
られ、コンクリートが流されて、
学校らしくなってきた。

しかし、現在の越谷市にも、発
達していない面もある。そして、
自然も失われている。だから私は
まず始めに道路をほろうしたら
よいと思う。なぜかという、道
路は、こぼれ、ちよつと雨がふ
ると水たまりがたかくなき。

学校や、会社などへ行くとちよつ
車が通つと水をはねかされた
り、よくなじいことがあるからであ
る。

それから、もっと明るい越谷市

にしたいと思う。知らない人でも
こまっている時には助け合えるよ
うな越谷市になったらいいと思
います。

しかし、いまのようなゆづかい
事件など、人を信じられないこと
がある世の中では知らない人に助
けるはずがない。だから、悪人の
いない、人が信じられる越谷市に
なつたら、どんなにすばしいこ
とだろうと思う。

また、いまは、工場や、家など
が、たくさん立ちならび、自然が
失われてきている。自然とは、人

大きな遊び場と

近代的な舗装道路



柳和久君
出羽小6年

東京近郊の都市として、これが
ら躍進する越谷市。その市長に
ほぐなつたら、まず、明るい越
谷市を建設したいと思います。

私が、一番考えていることは、
子どもの遊び場であり、これ
からの越谷市、いや日本をせおつ
て立つ子どもは、貴重な存在とい
えるでしょう。そのためには、青
少年たちに、のびのびと明るく育
つてもらいたいと思います。

間の心をゆたかにするたいせつな
ものだと思つ。越谷市が発達する
ためには、しかたがないこともあ
りませんが、自然公園みたいな
ものができて、みんなが、たのし
めるような場所があつてもいいと
思つ。いまは、まだ自然である所
が多い越谷市ですが、これから発
達して自然が失われるならば、い
まのうち公園を作つたらいい
と思つ。

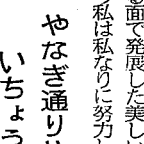
それに、こみだが、道路や川
などに、こみは、いちぢらかつて
市民が協力して清潔な越谷市に
なつたらいいと思つ。

希望は、大きいほど良い。私は
後楽園球場の二倍ほどの公園、運
動場を少年たちにあたえて、心身
ともとりつはな人間になつてもら
うことを期待します。

さて、こみ遊び場がめづれ
ていても道路の問題、その他のこ
とが解決されなくては、まだ十
分でありませ。現在交通事故は最
高にも上つています。道路は毎日
歩くものでありまして道路の改善
は、非常に大切であつて悲惨な事
故を未然に防ぐことができると思
います。

やなぎ通りや

いちぢよう通りを



岡野雄二君
荻島小6年

私が市長になつたら、こみな
とをしたい。

それは、まず、交通の問題だ。道
路のはげをばげ、交通まのをなく
したいといふことだ。市街地に商
店やビル、銀行、役所をのつめて

すきません。

いっせ悪じぢや道やどる道は
近代的な舗装道路にしましよ。

次に、環境衛生のことでありま
す。越谷市は、こみ二三年です
いぶん住宅がふえ人口が増加しま
した。ゴミの処理のことですが、
越谷市では、緑の箱が各所に設置
されていますが、もっと数をふや
せば、私たちの市はきれいになる
ことと思つ。

歩道と車道を区別して、買い物や
用など便利にした。

よなき通り、接通り、いちよう
通りとよみ木通りをへり、特長
をいかした道路とする。そして市
民が、交通事故の心配のない、安
心して生活できる地区にした。
住宅地は、しずかなるにあり
つめて、団地と二軒建ての家々
道路はほらうして、住宅地域内に
公園をつくり、きれいな町なみに
する。

そして、工場地域は広い場所に
あつめ、各地から各地へと材料や
できあがった製品の輸送も、住宅
地などを通らず、国道へ出ていけ
るよつにした。



上床学君
大沢小6年

越谷駅を立派にし 図書館をふやす

考えただけでもいいです。
しなければいけないことは、たく
さんある。まず越谷のまちを東京
のヘッドタウンとしてもっと発展
させたい。
それに、市の中心地だけにな
く、町のすみずみまで早く道路を
きれいにし、住みよい町にするこ
とです。たとえば、ぼくらの家
の近くの道路は、雨が降ると水

々、まるで田んぼの中のように
なってしまう。このようなこと
が、あちこちにあると思ふ。

越谷駅をもっと立派にし、駅前
に広場をつくり、越谷にきたお客
様に良い感じを与えたい。

次に、越谷市の人口が年々増え
るばかりで、それに学校の校舎や
遊び場などの設備が足りていな
い。もっと受け入れをよしくし、町
を大きくしたい。図書館をもっと
ふやし、市民が日曜日など遊べる
野球場や公園などももっとふやし
たい。そうすればぼくたちも日曜
日などは楽しく遊べる。

越谷の町を、もっと都会的にす
るだけでなく、古くからの越谷の
もっている良いところ、たとえば
久伊豆神社などは、いつまでもた
くさんの人々をまわらせること
ができるようにしてあげたい。
幼稚園や保育園の数も、もっと
たかさんつってあげたい。

ぼくが市長になったら、またま
だやることがたくさんありそう
だ。
いろいろな問題をかかえている
越谷市長さんはいへんかと思
う。がんばってください。

立体交差で ふみきりのない道



八尾久男君
南越谷小6年

ある日、ぼくは市長室のどっか
りした大きな机にすわっていま
しい感じでした。市の人々の期待
を代表するのです。

このことから、市長になったつ
もりのぼくの考えがうまれていき
ます。
まずぼくはぼくらの町は、越
谷の近代化についで

ぼくらの考えを聞いてください。
市の入口にそびえたつステーションビル、大きな広場、商店街、住

宅地は整然と区画され、それをと
りまく緑地帯は農地地域の緑の協
力を得て、生活として育てられて
います。
また、工業の発展も計らねばな
りませんが元荒川の水がとんとん
よされてきています。

だから、川の一部を堤防で区切
り、水を清掃する設備をとりつ
けることにします。
巨大な工場は越谷の人々をき
つと満足させることですよ。

もう一つ、交通事情の問題があ
ります。
交通事故の被害者は年々ふえて
きています。
どうしてもこのやみを解決し
なければなりません。

そんな道路を車道と人道とに
分けて、立体交差にして、踏切の
ない、信号のいらぬ形にして
交通事故をなくすことです。
しかし、これらぼう大な計画を
実現させるためには、多くの費用
と、あと一つ、市民の団結が要り
ます。

ぼくは、この大きな計画を本物
にさせるために、市民の団結を計
り、住みよい、そして活気に満ち
た越谷市へついに努めたい。

最後に、ぼくらの町は、大きく
広がって行きますが、まず、これ
らのことを実現させてからに
したいと思います。

音楽が聞える 楽しいまち



松本佳寿子さん
西中2年

私が市長になったらやりたいこ
とは三つあります。

一つは、区画整理を充実させる
ことです。少なくとも、大型車四
人以上は、市内、あるいは商店街
学校のある所の通行を、禁止する
ように、市会議員の協力を得て、
通行区分を確立させ、交通事故を
最少限に、くい止めたいと思いま
す。

もう一つは明るい楽しい市にす
ることです。明るい市、それは電
灯をたくさんふやして、夜道を明
るくします。それから花壇をふや
して草花を植えて、いつでも緑の
葉のきれいな花が見られるように
します。楽しい市とは、たとえ
ば、どこにいても音楽の聞こえる
市、昼食うになったら、市全体
に好適な曲を送り、夕方になっ
たら、早く家に帰るようにして寒
くないように、暖かな曲、明るい
曲を流します。そうすればこんな
に楽しい市になるでしょう。

最後の一つは、市を清潔にする
ことです。市民会員の協力を得て
一月か二月に一度の割合で、

川やどぶのそじをして、市内を
歩きまわり、「ゴミを拾い、市をきれいに
するのです。小学校や中学校
校だつて、そこで勉強している人
達が、生徒がそじをするのだから、
私達市民が私達の住んでいる
所をそじするのは当然でしょ
う。

私が市長になったら、前のよう
なことをしたいけど、私が市長に
ならなくとも、できることは、や
りたいと思います。住みよい市に
なるように。

一平方キロに 一つの公園



関口満理子さん
南中2年

もし、私が市長になったらとした
ら、どのような事を推し進めたい
だろうか。

私は、知っている限りの越谷市
の現状を思い浮かべてみた。まず
頭に浮かんだのは現在の農地を
いしめるとのこと。そして、埋
めだてて、工場汚水・煙があまり
出ないで製品を作れるもの)を建
の所有者、つまり農業にたすさわ
つていた人々を、採用すればよい
と思ふ。また、その埋めだて地に
「基礎の目」のように、道路を整

「基礎の目」のように、道路を整

一層がんばりませう。

下水道の普及率が全国最低のラ
ンクにあることも、道路の舗装率
が悪いことも、交通競争の対策に
ついて、人々は市政について無
関心ではなくなりませう。市政はか
りでなく、広く社会にも目をむけ
今以上の深い関心を持つてしま
う。こうして市民ひとりひとりが
これら多くの諸問題を自分のこと
として考えていったらどんなにか
素晴らしい発展が期待できるでし
ょう。

私達の越谷市だと本気で考えて
みないことには向上はないでしょ
う。そうならば公園は決してせ
たくではないでしょう。子どもた
ちだって元気に遊ぶことができ
るんです、本気で公園作りを考え
てみたいものです。これが正夢に
なったら……そう思うと喜びでい
っぱいになります。

市民との集いを



正 さん 22歳
島村 先生・越谷
学 大 字

昭和三十年以降日本経済は著し
く成長し、首都圏への人口集中は
急激な勢いで進んできました。
交通の便がよく通勤に適した「
二越谷市も、急激な人口増加を余
儀なくされています。

年々激しく変化してゆく越谷市
において、行政の最高責任者であ
る市長に、かりに私が選ばれたな
らば、次のようなことを実現して
やろうという大それた夢を見ま
した。これはあくまでも私の夢であ
り、表現可能な根拠、財政面の間
題については、考えないことにし
ます。

市長は、住民と直結であり、与
えられた最大の任務は、一口に言
って「市民のための、住みよい環
境づくり」であると思います。

最近、住宅の増加はめざましく
スプロール化現象は越谷市全体に
ひろがり、それらによる影響が多
く見られ、そのまま放置すること
によって、市民の生活環境は悪化
の一途をたどっている現在、私は
それを解決するには、計画的
な土地利用による市の健全発展と
秩序ある整備に力を入れ、住みよ
い越谷市にしたい。

また社会教育の面も大きな課題
であります。次代を担う青少年の
育成はきわめて重要な問題です。
そこで対策として青少年の方がい
つても気軽に出入りできる健全な
娯楽センター、あるいは青年会館
等を設立し、青少年に活動の場と
して与えることによって青少年の
育成を計りたい。

最後に私は、定期的に「市民と
の集い」を開き、市民の要求に耳
を傾け、独走することのないよう

に注意したい。単なる広報の発行
や、投書箱の設置だけでは、市民
との親愛さは増えないし、市民の
市政に対する関心も高まらないと
思つて、自ら市民の中に入って
多くの人の声を聴くことによつて
全体の自治意識を高めたい。

重要問題が七つ



雄 さん 23歳
岡明 社員・船渡
吉 大 字

私はこの土地に生まれ、育ち、
二十三年間、青年という立場で市
政を見つめその備忘で記してみ
る。現状を重要問題として、七つ列
記してみよう。

まず一つとして、道路はどうで
あつか。雨が降れば水がたまり
ゴツゴツした砂利道ばかり、舗装
率を見ても半パーセントに近い値
で伸びよつたし長期固定型に
みえる。あるいは交通面でも、車
が横行し、どんな細い道でも走
っている状態、このような状態の中
で、交通事故は増加するばかりで
ある。

かの市町村に負けない林立ぶり、
しかも無計画な建築、これらなん
かは市の破滅の一途をたどるもの
と考へられる。

三つ目として農業の問題、これ
は市の都市化の政策前面に出され
農民は専方の役を演じているよう
である。しかも農協でさえ企業化
され、本当の農協でないような気
がする。

四つ目、教育問題、これらは、
将来の主人公を作る機関として
最も重要なものであるが、現実を
見てみると、校舎が足りない、先
生が足りない、設備が足りない、
これこそ三不の状態である。今は
真の教育でなく、偏見教育である
と思う。

五つ目、福祉問題にしてもしか
り、私達市民は直接関係しなくて
はわからない状態はないだろう
か。何ら人間が人間として人間ら
しく生活しようとして、まじま
じの現実をみてほしい。

六つ目、病院の問題であるが、
これもわかり、人口十三万を越え
ているマンモス市でも総合病院す
ら未だに建設されていない。ある
小児科医院一面を見ても、診察室
などはものすごい競争率を示し、考
えられない程である。

以上重要なものをだけを列記して
みたが、このほかたまのこの問題
があります。

ここで、「もし私が市長になつた
ら」これらのたぐさの諸問題を
客観的、科学的に捕え、ビジョン
を作りその中でまず財政面を健全
財政に確立させ、それらを合理的
かつ建設的方向に向け「市民のた
めの市政」になるように考へる。

保育所をふやす



泰 さん 19歳
大会 社員・大塚
大 大 字

私が、もしも市長になつたとし
たら、さて、どんなことができ
てしよう。選挙の経験もなく、頭
の中だけで、理想どおりにやれば
いいのに、などと考へていた私で
すから、名案なんて浮かんできま
せん。こんな私が考へるとでも
夢の中でしたら、実現できるでし
ょう。

そこで、まず、越谷市の住民が
一番困っていることから解決しま
しょう。保育所の不足、下水道設
備の不足、物価の急上昇、減税な
どとこれをとつても、一番に解決
したいことはかりです。

でも、私は女市長になるわけで
すから、まず、保育所をもつとも
つとふやしましょう。母親たちが
安心して働けるような、そして、
だれでも差別なく利用できるよう
な保育所を作りましょう。

その次に、ほかの市に比べて、
だいたい遅れていると思われる下水
道の設備をひるめましょう。そう
すれば、小さな子どもが、日本脳
炎に苦しめられることも、老人が
どぶ川に落ちてけがすることなど
なくなるでしょう。

それから、私が何年間もなやま
された、道路の改善に努力しまし
よう。細い道のすすみまで改善
されたら赤ちゃんとが石につまずい
てくることも、雨あがりの朝、
おろしたての紙を、どろどろにす
ることもなくなるでしょう。

そして最後に、私だけにしかで
きないことをしましょう。それは
年に数回、選挙権のない、中学生
高校生に、実際に市議会をみせ、
新しい意見をとりいれることにし
ましょう。そして、今、問題にな
っているいわゆる少年にも年に一
度、選挙権を与えましょう。

このような、無責任な夢は、こ
んなにふやめて終らせましょう。ど
れをとつても、小さな夢ばかりで
すが、この二つ一つが現実になっ
たら、私たちの越谷市も、もつと
もつと住みよい町になっていくこ
とでしよう。

スポーツ公園 の建設を



大友 秀子 さん
主婦・36歳
元 柳田

本当に夢の様なお話ですが、ひととて市長室の大きなイスに坐って、計画を練ってみましょう。交通、住宅、その他...難問題が山積の市政ですが、市長と致しましては第一に、幼児からお年寄りを含めた市民の、体力づくりに重点をおきます。

「健康で、明るい家庭」

これが伸びゆく越谷市の大きな原動力となるからです。体を鍛えたい。何かスポーツを考えても身近に利用できる施設がない。

そこで、市庁舎と向かい合った東小林地区の元荒川沿いに、五万平方呎の広大な、スポーツ公園を建設致します。

上尾、大宮あたりに見られる公園の競技場中心の総合グラウンドではなく、誰でも自由に使用出来てしかも無料、家族連れで一日遊べるこの場所です。

高々とした芝生の中庭は、親子でボール遊びに、チビっ子サッカーに...。秋は体育祭、運動会やレクリエーションにと活用されます。

外周はサイクリングコース。自転車も大小取揃え、幼児向きには遊園地があり、ローラースケート場には医療室を備えます。

大きなプールも、冬は釣り堀に開放し、川沿いにクヌギやカシの林を作って、キャンプや、木の実にひろいにと、自然に親しむ機会を持ち、青少年の育成に役立たせたい考えです。

完備された体育館では、いつでもスポーツテスト等が受けられ、体力に合った運動を、コンピュータが、アドバイスしてくれるます。

スポーツに恵まれない勤労者のために、夜間施設を整え、専任の指導員を配置し、一日のストレス解消に、また明日への勤労意欲を高めて、スポーツの芽が育つように環境づくるのは、社会体育の振興に大きな役割を果たすからです。公園の夜間照明が、夜空に輝いて川面(かわも)にゆれ、美しく浮きぼりされたその夜景は、県下随一を誇ってよいでしょう。

限られた強い代表選手を育てるのではなく、スポーツ愛好者の底辺を広げて、体位向上のためにこの運動公園の建設意図は、発展する越谷市に明るい希望と夢を与えてくれる事を確信致します。午後四時四十五分、チャイムと共に、市長室に別れをつけました。

悩みや発言を 的確にキャッチ



林文三 さん
業 29歳
書籍販売
大字 袋山

世の中が進んで、最近政治、市政に関心を持つ人が多くなったが、まだまだ関心度は低い。原因は市政の内容や行政等が市民の前に、わかりやすく公表されていないからであろう。私は一週間に一度くらいは地区別に市民との対話を設けたり、またスライドや映画を通じて今日の市政の状況や、あらゆるマスコミ機関を利用して市民に理解し、納得できるように努力してゆきたい。また、そういう時にみんなの悩みや発言を的確にキャッチし、すぐ実現できるように、なシステムづくりを実現したい。とにかく市民に直結した市政を行なうことをスローガンにしたい。

ある人に五歳になる子どもがいる。去年、市立の保育園に入園させたのも、福祉事務所に行った。生活にも困っていたし、夫婦二人で働かねば生活できないのに、ほかに子どもを預ける施設もなし、月謝の高い私立の幼稚園に入ってしまった。その時、もっと公立の保育園がたかさんでできないのかと願っていた。

戦後の必要から生まれた母子寮。児童養護施設などが老朽化して存続している一方、特別養護老人ホーム、精神者、重症身障児施設など需要の急増している施設が、収容力不足で待機者が多い。これはほんの一例だが、そういう点で社会福祉施設の増大に力を入れた。我が市内に住んでいても一番気になのが、道路交通の改善、生活環境の整備である。道路を整備し、住みよい社会づくりを急ぎたい。そこに人口が集中し、大規模な企業集積が発生し、自然に越谷も発展する。それにもなっ

人づくりに 立ちあがる



新方房子 さん
農 38歳
業 船渡
大字 大

一九七〇年の新春を迎え、ここに新たな夢を語ることにしました。

市制施行十周年も過ぎた我が市の人口今や、十三万に達しようとしています。このように急激しつつある我が市の発展は、県下でも稀と申せましょ。とに角都心に近いといふこの条件が、一番思われましょ。この大世帯をかかえた

て何か観光事業を手がけることも一利だろう。

住民の一番の悩みは、住宅の問題である。市民の前に具体的に写真を見せ、一家族一軒の割合で住宅難を十年くらいで解消してゆきたい。

とにかく生活に密着した問題から、一つ一つ実行に移してゆきたい。前にも述べたように、市政をガラス張りにして、全市民の台所となり、納得できるように施行してゆきたい。

最後に越谷の未開地に対する補助計画、優先的に徹底的に行なうように努力してゆきたいと思っ

私は先ず市民の皆さんに心から親しまれ、信頼される市長になろうと思ひます。

市民の皆さん、童話の中に、気はやさしくて、ちからもち、と、いふことばのあったことを、おぼえていらつしやると思ひます。そのような人づくりにするために、今こそ立ちあがらなければならぬ時期にあると思ひます。

数多い事業の中で、環境の整備、青少年の犯罪撲滅、成人教育、その他まだまだたくさんありますが、中でも成人教育の必要性は、いかに重要であるかが同われます。なせそんなことと思われるでしょう。

一例をあければ、現代青年の理想は美にすばらしく、結構なものですが、忍耐力の欠けているのは驚きます。こんなことを申すと一部の者は反発されお叱りを受けるかと思ひます。私はそのようなためにも成人教育の一つとして先ず市職員に教養を高めていただき、接する皆さんと気軽に事務処理をしていただくよう努めたいと思ひます。次に、青少年問題、特に次期当市を背負って立つ小中学校児童生徒の性格を明るく健全な精神の人間に教育されることを、学校職員に期待をかけたかと思ひます。

またまた申しあげたいことは山程ありますが、最後に一言、私たちは常に愛情と勇気を持って、他人に接したいと思ひます。

区画整理を 推進します



小林秀男 さん
士 31歳
司法書士
大字 南 荻島

新年おめでとうございませう。市民の皆様には、日頃市政につきましてはいろいろのご協力をいただき、厚くお礼を申しあげます。奇しくも七〇年代の第一年目、不肖私に市政をおまかせ下さいまして、まことにありがたうござい

まことにありがたうございませう。

成人式案内

成人の日は、国民の祝日として毎年1月15日と定められています。おとなになったことを自覚し、自から生き抜こうとする青年を祝い励ます成人式は、15日午前10時から市立体育館で行ないます。

式典の内容は次のとおりです。

とき 1月15日午前10時開式、11時から12時まで講演「大人とは何か」。講師 東洋大学教授 堀秀彦先生。

ところ 越谷市立体育館
成人になられた方（昭和24年4月2日から25年4月1日まで生まれの者）には、案内状を差しあげましたのでぜひご出席ください。

案内状は住民基本台帳をもとに11月30日現在で調査したものです。もし案内状が届かない方がありましたら教育委員会へお問い合わせください。電話64-2111。なお、当日はなるべく平服でご出席ください。

主催 教育委員会、青年団

施設めぐりに

あなたも一度参加を

第六回施設めぐりは、次の日時に行ないます。どうぞお申し込み

日時 一月二十九日午前九時三十分から午後三時

見学場所 給食センター

一、東部清掃組合（のみ）、し尿処理場、鴻池製

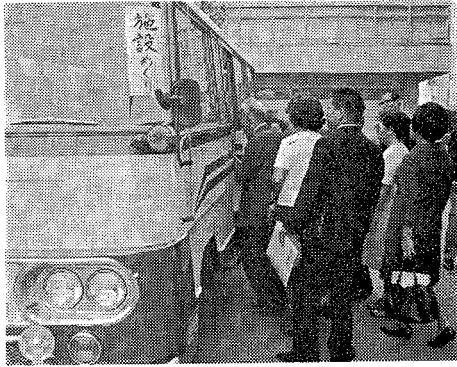
作所、老人ホーム、浦田保育所、

南部浄水場。申し込み

一月二十日までに往復ハガキ

で住所氏名、年齢、職業を記入

一日（日曜、祭日は除く）土曜日



は正午）までに課税課に提出してください。なお申請する方で、用紙が届かない場合は記載事項については、資産税第一係へ。

ありがとうございます

このほど派の方から寄付がありました。

福祉事務所へ

▽白鳥只右衛門さん（北越谷三丁目）

▽大沢四丁目

▽菅野精一さん（東小一丁目）

▽電気洗濯機一台

▽お風呂

▽老人ホーム

▽埼玉真電機面直しホーム

▽栗原重治さん（大

道）

▽岡本うめさん

▽電気掃除機一

▽キャパレニュー

▽ヨーク従業員一同

▽衣類八十点

今年度の重点施策の一つとして、土地区画整理事業につきまして、今までの越谷市の経過や、これからのことなどにつき、私の考えを述べ初春のあいさつと致します。

越谷市の区画整理事業も、昭和三十七年一月に着手した北越谷地区を初めとして、東小林地地区、南越谷第一地区、そして、市民の皆様と学識経験者等で都市問題審議会を構成し、その意見を十分尊重し、あるときは慎重に、あるときは大胆かつ迅速に事業を推進したいと考えています。

この計画では市の区画整理事業費は、昭和四十二年から昭和五十年までが、約二十九億四千二百万円、昭和五十一年から昭和六十年までが約四十一億七千万円のお金が必要となります。

以上の事業費の捻出方法と致しまして、現在の市職員を二分の一に減らし、民間にまかせられる仕事をほとんど民間にまかせ、役所を仕事能率化させること、お金を作り、事業費に振り向け、五年計画のところで三年間で本換地を行ない、完成させること。

また区画整理地内の土地所有者の方々のご理解をいただき、主要道路は一定期間（道路整備に支出した資金回収まで）民間に委託し、有料とし、保留地につきましても、市独自の土地買上げ事業団をつく

り、買上げ、現在の市街地の住民や、都市計画に基づき、道路拡張にかかった方々や、転地を希望する方々に売却もしくは貸付を行ない、市全体の再開発を積極的に行ないます。

越谷市百年の大計を立て実行にあたっては市民の皆様と私自身もしくは私直屬の参事をもって十分なる話し合いのもとに、市民の皆様と学識経験者等で都市問題審議会を構成し、その意見を十分尊重し、あるときは慎重に、あるときは大胆かつ迅速に事業を推進したいと考えています。

よります越谷市の町づくりのために力をそそぐ覚悟です。

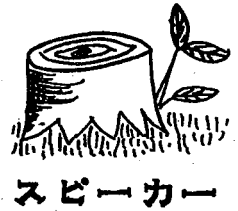
何ぞ市民の皆様より一層のご協力とご理解の程をお願い致します。

※この作文は、市内の小学校六年生、中学校三年生の全員から、男女各編すつを提出していただき、青年と一般成人の方には、それぞれ男女二人ずつ書いていただき、小中学校の作文は多数お寄せいただきましたが、紙面のつごうで、半分以上の方々の作品が掲載できませんでした。

なお個々の作品の見出しは編集部でつけました。

この企画にあたって、各小中学校をはじめ、多数の方々に協力をいただき、感謝いたします。

り、買上げ、現在の市街地の住民や、都市計画に基づき、道路拡張にかかった方々や、転地を希望する方々に売却もしくは貸付を行ない、市全体の再開発を積極的に行ないます。



スピーカー

場所 福祉会館第一会議室
テーマスト 日本の思想(丸山眞男著)
老人娯楽室を身障者、生活保護者に無料で開放

福祉事務所ではお正月のサービスとして福祉会館老人娯楽室を、身体障害者、生活保護者、母子家庭の方に無料で開放します。ご利用ください。

一月九日 身体障害者
一月十一日 母子家庭
一月十三日 生活保護者
時間は午前九時から午後三時

第七回日本古典文学鑑賞講座
日時 一月十日午後三時
場所 福祉会館教室
主題 「未摘花の造型」—源氏物語(三)—
講師 小谷次郎先生(春日部女子高等学校教諭)

第四十八回経営について
話し合ひ会
日時 一月十日午後六時
場所 図書館資料室
主題 「経営者の社会的責任の自覚と実践」—テキスト—
本の経営(武山泰雄著)

第十五回越谷俳句道場
日時 一月十一日午後一時
場所 福祉会館茶道室
参加者は、当日自作五句を持参ください。なお、当日は越谷曇母会と新年合同句会を行います。

第七回市民読書会
日時 一月十八日午後二時

十二月に開催する予定で延期になっていた市議会は一月十三日開会の予定です。会期は約一週間の見込みです。会議のくわしい日程や傍聴のことなどは議事事務局にお問い合わせください。(電話六四二二二二)

保育所(園)の入所受け付け

中央 大沢第一 保育所は四月に開所します

福祉事務所では、こし四月から各保育所(園)および福祉事務市内の各保育所(園)へ入所するにありませう。

児童の申し込み受け付けをします。保育所は満三歳から学齢期に達するまで、乳児保育所は生後三か月以上三歳未満までです。受け付けは一月十二日から一月月から満三歳未満までです。三十一日までですが入所申請書は 申し込みに必要なもの

保育所(園)入所受け付け日割り

保育所(園)名	募集人員	受け付け日	受け付け場所
蒲生保育所	〇歳児三八人、一歳以上七三一人	一月十七日	蒲生保育所
大袋保育所	四十二人	一月十三日	大袋保育所
大相模保育所	十五人	一月十四日	大相模保育所
桜井保育所	四十二人	一月十六日	桜井保育所
増林保育所	二十三人	一月十九日	増林保育所
中央保育所	百五十人	一月二十日	福祉事務所
大沢第一保育所	百五十人	一月二十一日	福祉事務所
越谷谷保保育園	二十一人	一月二十日	福祉事務所
大沢保育園	五十人	一月二十三日	大沢保育園
あおい保育園	二十六人	一月二十六日	福祉事務所
乳児保育所	臨時福祉事務所受け付けています		

〇受け付け時間は午前十時から午後三時まで。
〇当日都合の悪い方は、一月十二日から一月三十一日まで福祉事務所へ受け付けます。

〇三歳未満児の場合は特にツベルクリン反応を含んだ乳児の健康診断が必要で、入所できる児童は、母親が昼間家庭の外で仕事をすることによって、子どもの面倒がみられない場合。

〇母親が子どもとはなれ、家事以外の仕事のため、子どもの面倒がみられない場合。ただし、父親がその仕事に従事し、かつそのための使用人がいる場合は除かれます。

〇母親がなくなったり、行方不明などの場合。
〇母親が産前産後であったり、病気などの場合。

〇母親が家庭外労働および内職に従事している場合は、その職主の証明書。
〇母親が病気などの場合は医師の診断書。

農業委員会委員の選挙人名簿を調整

今年も一月一日現在で農業委員選挙人名簿を調整します。この名簿をつくるために農業委員会では、登録申請書用紙を農業連絡員さんを通じて配布しました。該当する農家の方は、登録申請書に記入して一月七日までに農業連絡員さんまたは農業委員会へ提出してください。

なお、来年四月には、農業委員の任期満了に伴う選挙が行なわれますので、該当事項は正しく記入してください。

おことわり

今号は、紙面のつごうにより、毎回掲載していた、市史編さんよりはお休みいたします。また、燃えないゴミの収集日と休日当番表は、別に印刷して、広報ししがや一月一日号と一緒に配ります。ご了承ください。

訂正 男の有権者数
広報ししがや十二月十五日号の二ページの記事のうち、十二月六日現在の有権者数が「男四万九千九百五十七人」とありますが、正しくは「男四万九千九百五十五人」です。訂正しておわびします。